

事例) emole : ドラマ配信アプリ「BUMP」

1話平均3分の超短尺ドラマアプリ 既成概念を破壊するテンポ感・若者向けUX

1話3分の新感覚ドラマアプリ「BUMP」は、「日経トレンドイ2023年11月号」の「スタートアップ大賞2023」優秀賞を獲得。1話平均3分程度が大半で、1つの作品は11~15話で完結する。ジャンルは多彩で、「夫の不倫を妻が暴いていく復讐劇」、「群像劇を6つの部屋それぞれの固定カメラで撮影し、最後は1つの真実でつながるミステリー」などがあり、テンポよく進むのが特徴だ。料金体系は1話67円（税込み）の従量課金制が基本で、最初の3~4話は無料で視聴可能。それ以降も30秒のCM視聴などで無料になる仕組み。マンガアプリなどと同様、若者がなじみのあるアプリ設計になっている。視聴者は、有料部分の結末も含めてドラマのシーンを15秒まで切り抜きでき、SNSへ自由に投稿できる。結末を事前に知っているも自分好みだと思えば気にせず楽しむ傾向のある昨今の若者向けに、「ネタバレ消費」を促す狙いだ。

●BUMP (バンブ)



スキマ時間に ドラマを楽しもう！

トイレの中の1分間、電車待ちの3分間、友達を待ってる5分間。そんな隙間時間を豊かにする、たった数分でドラマの世界に没入してしまう作品をお届けします。



<https://jp.bump.studio/>
<https://emole.co.jp/>



ポイント

① 1話3分のテンポの良さ

1話の時間を極端に縮めた超短尺ドラマを展開。若者の可処分時間の奪い合いの中で暇つぶしとして見てもらいやすい形式。

② 「待てば無料」マンガアプリのようなUX

若者になじみのある、CM視聴で課金コンテンツが無料になる。

② 切り抜き&SNS発信OKでネタバレ消費促す

「今の若年層は物語の結末を事前に知っても、自分好みと判断すればそのドラマを1話目から視聴する。この若者特有の“ネタバレ消費”を促すようにしている」(emole代表取締役の澤村直道氏 談) こうしたユニークな拡散手法も奏功し、アプリのダウンロード数は23年8月に50万を超えた。